



最終日、兄弟との写真



タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立岐陽中学校 2年

奥丸 舜也

Shunya Okumar

僕は、今回が初めての海外旅行でした。抽選で通った時は、出発の日が待ち遠しかったです。だけど、日にちが経つにつれて、英語が通じなかったら、どうしようなどの不安がでてきました。

でも、ホームステイ先の家族が明るく、とても親切だったり、わざわざ英語をゆっくり話してくれて、とても助かりました。だから、安心して会話することができました。

僕たちは、学校にも行きました。学校では、授業→モーニングティー→授業→ランチ→授業となっていました。僕が驚いたことは、授業時間がとても長かったり、なぜモーニングティーがあるのだろうと思いました。

それに、ぼくは訪問団のホストファミリーと僕のホストファミリーは仲が良い人が多く、みんなでボーリングに行きました。ボーリング場にはゲームセンターもあり、食事もとれて、とても広かったです。驚いたことは、日本よりもボールが少し大きく思い、とても投げにくかったことです。

僕は、ホストファミリーのミッチェルのラグビーの試合を見に行きました。僕の中でのラグビーは互いにぶつかり合いとても怖いと思っていました。でも、生で見たラグビーは、とてもすごかったです。紙一重の状況でのパスなど、とてもすごかったです。それに、僕は、長い距離をととても速いスピードで走っては、敵に撃沈され、またすごいスピードでフィールドを走る姿は、とても尊敬できました。

そして、あっという間に時間が過ぎてホームステイも3日目になりました。



ボーリング場での写真

その日は、ホストファミリーの父マシューさんが四十二歳の誕生日を迎えました。その日の食事は、とても豪華で、とてもおいしかったです。その日は、テレビでラグビーの試合を見るなど、とても楽しい一日でした。
次の日、ビラボン・サンクチュアリーを視察しました。そこには、日本では見たことのない動物がたくさんいて、カメラに夢中でした。その後、ライアンスクールの生徒とお別れ宴会をしました。今までの感謝の気持ちを込めて、歌を歌



父の誕生日

たりしました。歌っている途中にライアンの生徒も加わり、歌いました。
そして、最終日にホストファミリーに日本語で「来てくれてありがとう」など、温かい言葉をもらったりして、とても嬉しかったです。ホストファミリーと別れるのは淋しかったですけど、とても良い時間を過ごしました。
僕は、タウンズビル市に来て、コミュニケーションをとることの難しさなど、とても苦労しました。でも、その苦労を乗り越えることができたからこそ、とても良い体験ができました。この体験で学んだ事を、学校生活や部活動などで役立てていきたいです。



動物園で



学校

ホストファミリーとビーチで
夜のピクニック

平成24年度
Townsville
友好親善
訪問団



朝のきれいなビーチ

タウンズビル市友好親善訪問団に参加して



周南市立岐陽中学校 2年

杉村 茉耶

Maya Sugimura

私は、今回のタウンズビル市友好親善訪問団に参加し、多くの体験や、楽しい仲間との出会い、そして素敵なホストファミリーとの出会いがありました。

私は、海外へ行く事も飛行機に乗る事も初めての経験で、最初は本当に緊張していました。

初めの日は、シンガポールに着きました。シンガポールの広大な街並に気を取られ、いつのまにか緊張も無くなっていました。そして、外国へ来たんだと改めて実感しました。

次に向かったのは、シドニーです。シドニーを代表するヨットの帆の形に似たオペラハウスとハーバーブリッジの風景は、写真やテレビと違い、実物の迫力は、想像を超えたものでありました。

そして、やっと姉妹都市であるタウンズビル市に着きました。初めに市長表敬訪問をし、市長代理の方からのご挨拶があり、その後、ライアン・カトリック・カレッジへ向かい、そこで、ホストファミリーと逢いました。話が伝わるか、とても不安でしたが、皆とても温かく私を迎え入れて下さいました。私のお世話になったホームステイ先は、お父さんとお母さんと子供が四人の大家族の家でした。家に着いてすぐ、バーベキューをする為に庭へ行きまして。とても広くて、最初から楽しい時間を過ごす事が出来ました。

次の日は、ホストファミリーの方が計画して下さいましたプログラムに合わせて行動しました。

七才と十四才の女の子のダンスの発表会や、ファミリーのおじいさんとおばあさんともお逢いしました。おじいさんは、湖と船を持っておられ、そこで野鳥観察をしました。日本では見られない鳥を身近に見て、とても感動しました。

そして、ライアン・カトリック・カレッジでは、現地の生徒と授業を受け、本場の英会話に触れ、更に英語の楽しさを知りました。

生徒達の自己表現がはつきりしている事に驚きました。私も、そうなれる様、努力したいと思います。

この訪問では、水族館や博物館、動物園へも見学に行きました。オーストラリアは動物自然保護の国だと感じました。

また、ファミリーと談話の時、日本から持って行った紙風船やだるま落として遊び、紙風船はとても喜んで遊んでくれました。

最後にファミリーと別れる時は、とても淋しかったけど、私の為に楽しい時間を作って下さり、本当に感謝しています。オーストラリアの暮らしについての知識を得る事が出来、学校も家も自然に囲まれた南国らしい緑の多い環境を味わい、豊かな気持ちになりました。ファミリーにも、ぜひ日本へ来て欲しいと思います。日本の文化も素晴らしい事を教えてあげたいです。

帰国後、ファミリーに電話をしました。とても懐かしい声で私にとって、二番目に大切な家族の声でした。又逢いたいです。

沢山の素晴らしい体験をさせて頂き、本当に感謝しています。



タウンズビル市長表敬訪問



ピラボン ウォンバットと共に



ピラボン 鳥と共に



ホストファミリーのおじいちゃんの船



ライアン・カトリック・カレッジで出来た友達と一緒に



タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立須々万中学校 1年

有間 千尋

Chihiro Arima

私はこの夏休みにタウンズビル市友好親善訪問団の一人として、ホームステイが体験できて、本当に良かったと思います。私の中では楽しい思い出しか頭に残っていません。あつという間に終わってしまいました。何かからしゃべっていいか分からないほどの、たくさんの思い出ができました。友好親善訪問団として参加した十六人それぞれが行くさきさきで、いろいろな体験をし、いろいろなことを感じ、いろいろなことを学んだと思います。日本に帰ってきて、だんだん気持ちが落ち着いてくると、私にとって一番大切にしたい思い出になったと思えるのはホームステイ先での生活です。

私を迎えてくれたホストファミリーは両親と二人の男の子の兄弟でした。家族みんながとても仲良しであたたかい人たちです。そんなホストファミリーが私のために計画してくれたプログラムはオーストラリアの観光やショッピングではなく、私が家族の中にとけこむようにと家で映画を見たり、ゲームをしたり、公園へ連れて行って遊んでくれたり、親せきへ連れて行ってくれたりという、ふれあいでした。その中で私が学んだことは、ファミリーが誰にでも自然に感謝の気持ちを表し、また親切だということです。私にも家族みんながとても良くして下さいました。

決して私が遠くの国から来たお客さんだから、私にだけそうというのではなく、友達や家族にも同じように親切で、感謝の気持ちを表すのです。たびたびそんな場面を見て、私は教えられると共に日ごろの自分を反省しました。私は家の外では、「ありがとう」「ございます」とか「すみません」と言っただけでも、家族のような身近な人には、なかなか感謝を表すような言葉を素直に口にしていなかったからです。また、それが小さなことになればなるほどできていませんでした。そんな私に、ことあることに「ありがとう」とか「ごめんね」と声をかけてもらい、それに気付かせてもらいました。だから、ホームステイ中は私もまねして、ささいな事でも「Thank You」とか「Sorry」と言ってみました。その言葉はホームステイ初体験の不安な私に勇気をくれる言葉にもなりました。

感謝の気持ちを表すこと、人に親切にすること、これは私これから生活していく中で、とても大切なことだと思います。照れくさくて言いにくかったりすることもありますが、できるだけ意識して続けていきたいです。心細い時、親切にもらった喜びも「Thank You」と言ってもらえたときの嬉しさもたくさん経験して、知っているから。



ライオン・カトリック・カレッジの生徒と一緒にモーニングティー



日本から行った友達と、現地で英会話の勉強中



ホストファミリーと一緒に海へ遊びに行った時の様子



日本の着物などの展示物

ホストファミリープログラムで、一番最初に連れて行ってもらったところの写真です。はじめ見たときは、海かと思ったのですが、ダムと教えられてとても驚きました。とても大きなダムでした。

平成24年度
Townsville
友好親善
訪問団



タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立須々万中学校 2年

西村 実華

Mika Nishimura



私はこの訪問団に参加して、多くの事を学び、また多くの思い出ができました。

私は、英語がまったくと言っていいほど話せませんでした。コミュニケーションもうまくとれるか、出発前はとても不安で仕方がありませんでした。しかし、現地に着いてホストファミリーの人達と出会ったとき、優しく迎えてくれました。しかも、英語が喋れないと事前にメールを送っていたら、難しい会話などは、パソコンの通訳機能を使って会話をしようと言ってくれました。そのおかげで、ホームステイした五日間、とても楽しく過ごせました。言葉が話せなくても、理解し合おうと思っていれば言葉じゃなくてもコミュニケーションがとれるのだなと分かりました。イラストなどでのコミュニケーションも、またその方法の一つである事も改めて感じました。

実際に、ホストファミリーの人達の似顔絵を描いて渡してあげると、とても喜んでくれました。「みか、ありがとう!」と何度も言ってくれました。すると、少しだけ距離が縮まったように感じられました。これは、会話をしてお互いの仲を深めていくのと同じような感じなのかなと私は考えました。語学ができることはもちろん大切だけど、相手とコミュニケーションを取りたいと強く思うことも大切なんだなと分かりました。



ホストファミリーとの思い出もそうですが、やはりオーストラリアと一緒に行った、団員仲間との思い出も大切な思い出の一つになりました。ホストファミリーとの接し方の案をいろいろ出し合っていて、こうしたらいいとか、ああしたらいいとか、相談したりしました。とても心強くて、不安とかも少しずつ取り除かれるような感じでした。他にも、自由時間の時の何気ない会話が、外国での緊張をほぐしてくれました。最終日の時でも、家族にどういってお土産を買ったらいいかな、とかも話しながら決めたのを覚えています。団員仲間のおかげで、とてもリラックスできたし、勇気みtainいなものをもたらえた気がします。

最後になりましたが、このタウンズビル市友好親善訪問団に参加して、私は、私自身の成長を見ることができた気がします。出国する前と帰国した時では、きっと変わっていたんじゃないかなと思います。目に見えなくても、自分の中にあった世界観が出国前とは比較できないほど広がりました。いろいろなもの大切さを学ぶことが出来ました。そして挑戦心もどんどん大きくなっていったと思います。成長できた自分を見失うことなく、成長した部分を確実に今後の自分の力に変え、生かしていければ良いと思います。

1. 大きなダムのところにいる、野生のワラビーです。たくさんいました。このワラビーは子持ちだそうです。
2. 夜に、家の裏庭でやったバーベキューの写真です。BQソーセージをパンに挟んで食べました。とても美味しかったです。
3. 学校に持っていくお弁当用に、ホストファミリーの子達とお菓子を作りました。一緒に作って楽しかったです。
4. ホストファミリープログラム2日目に連れて行ってもらったビーチでの写真です。ホストファミリーの子達とキャッチボールしたのは楽しかったです。
5. ホストファミリーの家で飼っていた猫です。よく、この猫をなでながらホストファミリーの人はお話をしてくれました。私が泊まった家では犬を飼ってはいけないそうです。意外なところで日本と違うところを発見できました。



初めて抱っこしたクロコダイル！！！！



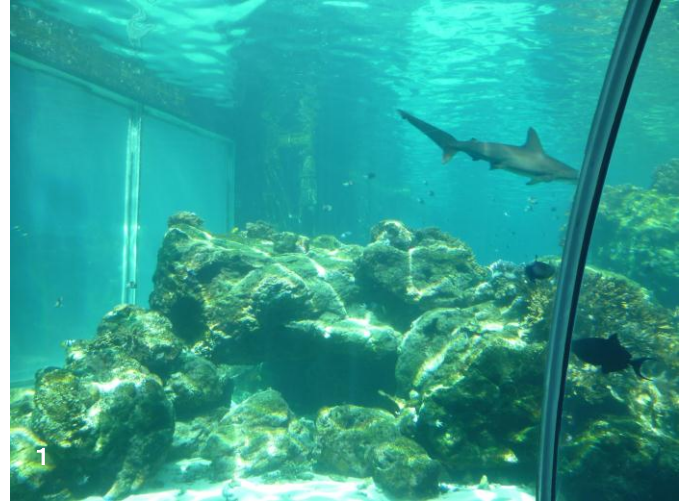
タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立周陽中学校 2年

山崎 舞花

Maika Yamasaki

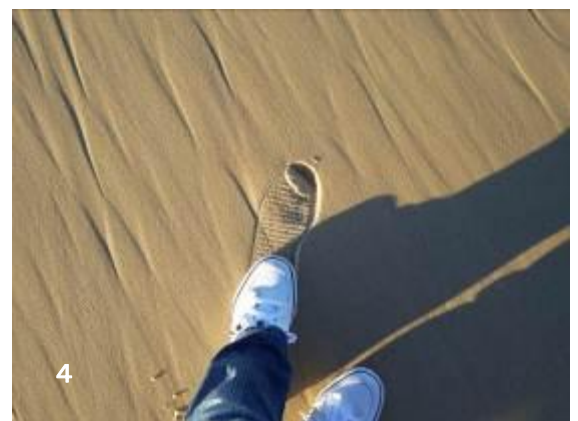
私は、今回タウンズビル市友好親善訪問団に参加して、様々な貴重な経験をし、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。名前も知らなかった方々と仲間になり、訪問に向けて協力し合い、準備をする中で絆も生まれました。タウンズビル市へ行く日が近づくにつれて不安と緊張、そして楽しみが入り交じった複雑な心境の中で、出発の日を迎えました。長い飛行機の移動で、少し疲れましたが、オーストラリアの地に降りた時は、やっと着いたという安心と、これから始まるんだなという思いに少し胃が痛くなりました。まずは、シドニーでの観光です。予想以上の寒さに驚きましたが、寒さをふきとばすぐらいの美しい景色に感動しました。高層ビルが立ち並ぶ都会なのに、多くの緑に囲まれていて、日本の都会の風景とは違うなと思いました。また、オペラハウス、ハーバーブリッジなどがとても美しい青い海と重なり、何度もシャッターを押してしまいました。そして次の日、いよいよタウンズビル市に向けて出発しました。着いてすぐ市役所を訪問し、市長から温かい歓迎を受け談笑し、その後タウンズビル市の観光をしました。キャッスルヒルから市内を一望した後、水族館、博物館に行き、楽しんでいたり勉強にもなりました。そして、ホームステイの家族との対面です。第一印象は、とても優しいような方だと思いい、ほっとした気持ちと、これからの生活への不安や期待に胸がふくらみました。ところが、やはり言葉の壁にぶつかり親切にしていたのに、上手く答えることが出来ず、焦りと申し訳なさで、初日は終わってしまいました。そして、次の日、緊張と不



安の朝を迎えましたが、ホームステイ先の姉妹が、その緊張をほぐしてくれるかのように、たくさん話しかけてきてくれました。一緒に公園に行ったり、ゲームをしたり、楽しい時間を過ごせるようになりました。また、お母さんが何度も分かりやすく、ゆっくりと会話をしてくださり、私もそれに答えられるように努力をしました。すると、少しですが、言葉も分かるようになり、家族とのコミュニケーションもとれるようになってきました。そして、ライアン・カトリック・カレッジでのプログラムでは、勉強したり、生徒たちとティータイムで交流したり、遊んだり、充実した時間を過ごしました。日本と違い、校舎も校庭もとても広々としていて、ティータイムという時間があることも驚きました。次の日、私が楽しみにしていたピラボンサンクチュアリーに行き、動物達と身近に触れ合うことが出来、またガイドさんの説明を聞きながら語学の勉強も出来ました。

今回、タウンズビル市に訪問出来たことは、私にとつて、これから歩むべき道への第一歩になったことに間違いありません。言葉や国が違って、同じ人間同士、心が通じ合えば絆は生まれるという事が友好親善訪問団に参加して分かりました。

1. とてもきれいな水族館
2. ホストファミリー宅のお庭です。
3. 仲良し姉妹です。
4. シドニーへの一歩
5. ウォンパット、モフモフでした。



平成24年度
Townsville
友好親善
訪問団



ホストファミリーと



タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立富田中学校 2年

深來 龍之介

Ryunosuke Fukaki

「nice to meet you」笑顔の握手の瞬間、ぼくの体の中にあつた緊張の氷が溶け、とても楽になった。自然に自己紹介ができ、とてもすんなりと受け入れられたと感じた。

ぼくのホストファミリーは、ミセス・デント、長女のガブリエル、長男のラクラン、次男のジョーダンの4人家族だ。ぼくは、積極的にアプローチしようと意気込んでいたが、ホストファミリーからのアプローチの方がすごかった。文章で話しかけてくれるのではなく、単語をたくさん並べてくれ、実物を指差したり、ジェスチャーをまじえたり、とにかくぼくに分かりやすいようにアプローチしてくれた。また、日本語を勉強していたらしく、片言の単語も登場した。おかげで、ぼくの心配は吹き飛び、コミュニケーションをとることができた。

ミセス・デントは、手作りの料理でぼくをもてなしてくれた。仕事をしていて忙しい中、ピザやカレーライス、チキン料理など、日本人が好む料理を調べてくれていた。お米が食べたいだろうと言って、タイ米でカレーライスを作ってくれた。日本人好みにと、タイ米をやわらかく炊いて作ってくれたカレーライスは微妙？だったけれど、ぼくのことを想って作ってくれた心遣いが、とてもうれしかった。ありがとう、ミセス・デント。



ピラボンサンクチュアリーにて
ワニと一緒に

休日には、ラクランとカルチャーフェスタに出かけた。さまざまな国の文化を紹介するお祭りで、ラクランは日本のコーナーに出演した。忍者になるとは聞いていたが、まさか、忍者の格好をしてソーラン節を踊るとは……。驚きとおもしろさで見入ってしまい、うかつにもラクランの勇姿を写真に収めるのを忘れてしまった。くやし

い。

ラクランとは、いつも一緒に行動をし、ボーリングをしたり、Wiiのゲームで遊んだり、楽しい時間を過ごした。彼に会えて、本当に良かった。

ぼくたちが過ごしたタウンズビル市は、広大な大地に緑が広がり、スカイブルーの海が広がり、映像で見るよりも一層クリアに見えた。街並みもきれいで、自然と街が調和しており、温かみを感じた。



タウンズビル市遠景

ピラボンサンクチュアリーでは、様々な動物とふれあうことができ、感動した。コアラの毛並み、ウオンバットやカンガルー、ワニの手触りまで、今もはっきり覚えている。

今回のホームステイを通じて、一番感じたのは、人の温かさ、街の温かさだ。楽しいひとときになるよう、常に気遣い見守ってくれた。ファミリーが、学校が、街がぼく達を温かく包みこんでくれた。そんな中ですごした五日間は、貴重な宝物だ。情報伝達ツールがいかに発達しても、実際に人と人がふれあう交流は、何倍も価値があると思う。ぼくは、今回の出会いに感謝し、これから先の交流も大切にしていきたいと思う。



ピラボンサンクチュアリーにて コアラと一緒に



ラクランとビーチにて



1



タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立富田中学校 2年

深町 駿太

Shunta Fukamachi

今回の交流で、オーストラリアの文化について、触れることができました。その中で、たくさんの人と出会い、色々なことを知りました。

その写真を、今から紹介したいと思います。

一つ目の写真は、ホストファミリーと一緒に撮ったものです。父の名前がロイド、母はカイ、息子はミッチェルといいます。ロイドには、タウンズビルの観光スポットに連れて行ってもらいました。カイには、お弁当や晩ごはんなど、毎日おいしい料理を作ってもらいました。ミッチェルには、よく世話してもらい、ゲームをしたり、遊びに連れて行ってもらいました。

二つ目の写真は、野生のカンガルーの写真です。ロイドが、家の近くの海に連れて行ってくれ、そこで野生のカンガルーを見せられました。僕らが近づいても気づいていなかったみたいで、近距離で撮影できました。

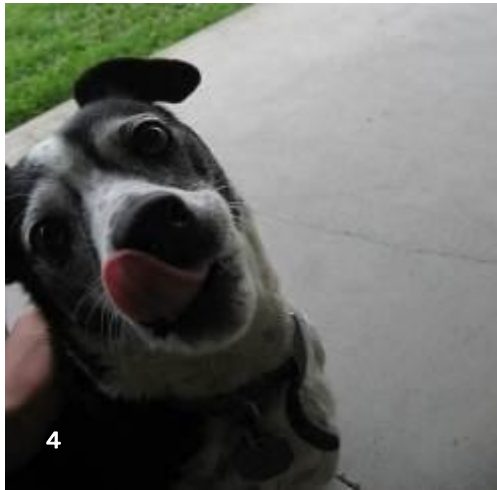
三つ目と四つ目の写真は、ホストファミリーが飼っていた犬の写真です。毛並みがフサフサしている方が、ビスケットで、しっとりしている方がアルザックです。ビスケットはとてもなついてくれて、家に帰ると、すぐに近寄ってきました。



2



3



4



5



6

アルザックは、とてもやんちゃで、外で遊ばれている犬なのに、勝手に家の中に入ってきて、柵のドックフードを食べていました。正反対の二匹でしたが、どちらも、とてもかわいかったです。

五つ目の写真は、ライアン・カトリック・カレッジでミッチェルと一緒に撮った写真です。ライアン・カトリック・カレッジでは、ミッチェルの友達とたくさん話したり、遊んだりしました。昼休みには、小さいボールをつかった遊びを一緒にやりました。

六つ目の写真は、ホストファミリーの住んでいる家の写真です。オーストラリアの家は、一階建ての建物が多く、景観に気がつかっていると聞きました。庭はとても広く、プ

ールや鶏小屋などがありました。鶏は十八羽もいて、僕は卵をとるのを手伝わせてもらいました。

この訪問で、外国の文化について更に深い興味を持つことができました。特に、景観を配慮した建物については、日本の京都でも考えられていて、たくさんの共通点を発見できました。それでいて、庭の広さ、ペットの多さなど、日本とは違うところにも気付くことができました。

これからも、今回学んだことを活かし、さまざまな文化に触れ、より自分の知識を深めたいです。

1. ホストファミリーと一緒に撮った写真
2. 野生のカンガルー
- 3, 4. ホストファミリーの家の犬
5. ライアン・カトリック・カレッジでミッチェルと一緒に撮った写真
6. ホストファミリーの住んでいる家

平成24年度
Townsville
友好親善
訪問団



1

タウンズビル市友好親善訪問団に参加して

周南市立熊毛中学校 2年

桑嶋 大輔

Daisuke Kuwajima



2

僕は、タウンズビル市友好親善訪問団に参加して、心に残っていることが三つあります。

一つ目はホストファミリーと過ごしたことです。最初は不安でいっぱいでした。なぜなら英語が得意ではないからです。しかし、ホストファミリーの方たちが、僕に分かりやすいように、ゆっくり英語を話してくださいました。僕は、一日でも早く、ホストファミリーと親しくなりたいと思いました。

ホストファミリープログラム二日目は、ホストファミリーの友達の家へ遊びに行きました。その友達の弟がフットボールの選手だったので、試合を見に行かせてもらいました。フットボールはとてもエキサイティングなスポーツでした。試合が終わった後も、ゲームなどをして遊びました。とても楽しかったです。その日の夜に、友達の家を招待してパーティーをしました。僕の家ではパーティーをしたことがなかったので、とても新鮮でした。

二日目は、朝に市場へ行きました。野菜や果物、雑貨などたくさんの物が売ってありました。野菜や果物は、とても新鮮で、とてもおいしそうでした。昼食はピザでした。日本では、あまりなじみのない店でしたが、ピザは特別にいいし



かったです。午後からは川釣りをしました。釣り方を教わったが、みんな一匹も釣れませんでした。せめて一匹外国の魚を釣ってみたいかったです。それから、家に戻り、釣り道具の片付けが終わると、ホストファミリーの父がバイクに乗せてくれました。初めてバイクに乗るので、少し緊張しました。車と違って、直接風を受けるので、とても気持ち良かったです。この二日間でホストファミリーの方と打ち解けた気がしました。

二つ目は、ピラボンサンクチュアリーを視察したことです。ここでは、カンガルーやコアラなどがたくさんいました。カンガルーが普通に触れることに驚きました。ガイドの人が、コアラやウォンバットなどの動物を紹介してくれました。貴重な体験をさせてくれたので、とても嬉しかったです。日本にもこんな動物園があったらいいなと思いました。

三つ目は、ライアン・カトリック・カレッジという学校で過ごしたことです。僕の通っている学校の校庭の二倍以上の大きさでした。ライアンの生徒が気軽に声をかけてくれたので、嬉しかったです。歓迎会の後に英語のレッスンを受けました。本場の英語は、とても話すスピードが速く、ついていけませんでした。学校で昼食をとった後、ライアンの生徒と交流をしました。最初は、いろいろな物を探すゲームでした。全部見つけることができませんでした。次は、はしでボールをつまんで遊ぶゲームでした。両方ともとても楽しかったです。次の日、お別れ昼食会があり、出し物を披露しました。喜んでもらったので、嬉しかったです。タウンズビルで過ごした日は、あつという間に過ぎていきました。とても親切にしてくださいましたホストファミリーの方に感謝したいです。また、機会があれば、行ってみたいと思います。

1. ホストファミリーとお別れをする際に撮った一枚です。
2. ピラボン・サンクチュアリーで初めてコアラに触れ合った写真です。
3. エマとカイデンと私の3人で食後の片付けをする様子です。
4. ホストファミリーの部屋の中でビリヤードをする様子です。
5. 父のレオンのバイクに乗って出発する所です。
6. 父のレオンのバイクに乗って帰着し、ホットした所です。